平成27年第1回相馬市総合教育会議議事録

1 開催日時

平成27年5月11日(月)

開会 午後3時30分 閉会 午後4時48分

2 開催場所

相馬市役所 3階 庁議室

3 出席した構成員

相馬市長	立谷秀清
教育委員長	宗形明子
職務代理者	太田孝泰
教育委員	森陽子
教育委員	関根進
教育長	堀川利夫

4 欠席した構成員

教育委員	小畑強子
------	------

5 事務局関係

(相馬市)

企画政策部長	橘川茂男
企画政策課長	横山哲也
企画政策課長補佐	荒川誠

(相馬市教育委員会)

教育部長	臺内吉重
総務課長	神戸伸一
学校教育課長	村田権一
総務課庶務係長	小関善之

6 傍聴人

なし

7 協議事項

- 1 相馬市総合教育会議の設置について
- 2 教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱について
- 3 重点的に講ずべき施策について

8 議事の経過

1 開 会

2 市長あいさつ

3 協議

1 相馬市総合教育会議の設置について

協議結果

相馬市総合教育会議設置要綱については全会一致で承認、定例の会議開催回数は年2回とし、9月と2月に開催する。

協議内容

- <立谷市長> 要綱には、会議の開催回数や開催時期について定めがないので、ご意見を伺う。
- <宗形委員長> 事業内容の確認・行動を考えたとき、反省を次年度に活かすためにも、年度末の2月もしくは3月に開催。また、新年度の予算要求前の10月頃に開催してはどうかと考えている。
- <太田職務代理者> 新年度予算案が確定する前に開催できれば良いと考える。
- <立谷市長> 予算を意識し、年度初めよりも年度末としたとき、時期は9月と2月となる。
- <堀川教育長> 年度末に開催しても支障はない。
- <関根委員> 年度末でも良いと考える。
- <森委員> 年度初めと年度末の開催時期を比較して考えたとき、年度末に開催した方が、次年度に反省を生かせるので良い。

2 教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱について

協議結果

新たな教育に関する基本理念を『地域づくりを支え、心豊かに力強く生き抜くひとづくり』とする。

協議内容

- <立谷市長> 『相馬市マスタープラン2007』の『地域の文化を守り心豊かに生きるひとづくり』を、平成23年度から27年度の相馬市教育振興基本計画の基本理念としてきたが、震災等の経験から新たな課題が明らかとなってきたため、相馬市教育大綱とする基本理念について意見を伺いたい。
- <宗形委員長> 基本理念の文言について、更に力強い印象を持たせるためにも『生きぬく』を『生き抜く』とした方が、力強さが伝わるので、漢字にした方が良いのではないかと。
- <関根委員> 分かり易く『力強く生き抜く』としたところには、父親の立場から判断しても共感する。
- <森委員> 母親の立場からは、震災以降の家庭環境も様々に変化している中で、『力強く生き抜く』と言う姿勢を、子供たちはいつ、どこで、誰の姿を見て学ぶのか。また、進路を決める中学生に対する伝え方をどうするのが、具体的な課題に感じている。
- <立谷市長> 生きるためのスキルを身に着けるため、社会教育をさせることが大切ではないかと考えている。

3 重点的に講ずべき施策について

協議結果

公立小・中学校のあり方について、検討委員会を設置し総論を取りまとめ、緊急を要する学校については、地区別検討会も設置し、地域住民等から意見を取りまとめる事とする。

子どものPTSD対策の必要性を認識しているので、具体的な対応策は今後決めることとする。

協議内容

- <立谷市長> 教育委員会から、重点的に講ずべき施策や課題等、何かありますか。
- <堀川教育長> 今年の1月に文部科学省が示した『公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引』によりますと、市内の学校規模を見た時、市内の小・中学校全体の今後のあり方について、検討委員会を組織し、早急に対処すべきとの意見があった場合には、速やかに地域での検討委員会を組織しなければならないと考えている。
- <森委員> 環境が子供を育てると考えているので、極端に少ない状況での教育は、子供の将来を考えた時に不安を抱く。
- <関根委員> 検討するべきことであると考えている。
- <宗形委員長> 現在の状況を見て不安を抱いている地域の方も多いと考えているので、この様な地域の方々にも安心していただくよう、あり方検討委員会を設置させていただきたい。
- <太田職務代理者> 他市町村ではすでに取り組みされている事であり、相馬市としても検討することは大切な事と考えている。
- <立谷市長> 相馬市が滅びないようにするため、また、少人数教育が子供の幸せになるのかを考えなければならない時期にきている。まず総論を固める必要があると考えている。
- 皆様からご賛同をいただいたので、あり方検討委員会を設置し協議を進めてください。
- その他に、何かありますか。
- <堀川教育長> 子どものPTSD対策を含めて、学校を支援するためにも、相馬市立幼稚園・小学校・中学校サポートを立ち上げたいと考えている。
- <立谷市長> 必要性は十分感じている。現在の校長先生が緊急時に孤立・孤独感を抱かぬよう、行政がサポートし、後ろ盾となり、しっかり支えなければならないと考えている。
- 緊急時に校長をサポートする体制を築くことにより、校長の職務を支援しなければ『学力の向上』を目指す余裕もなくなる。
- 特殊な事案が発生する事も想定できるので、専門の方々から支援をいただく必要があると考える。
- 具体的な内容については、今後決めていく。